


 併合福祉法人 こぐま福祉会
 福岡県小郡市大板井1143-1
 電話番号 0942-72-7221
 FAX 0942-72-7222

そら

発行人
 こぐま福祉会
 「そら」編集委員会



http://www.koguma.ed.jp



夏まつり



今年の夏まつりは、8月3日(土)に開催し、連日続く猛暑の中、約470名の方にお越し頂きました。

飲食コーナーでは、焼きそば、やきとり、カレーライス、わたがし、かき氷をしっかりと味わって頂き、18時よりステージイベントをスタートしました。子どもたちが保育の活動で製作したもので作ったお神輿やすいか割り、ジュースの早飲みなどで賑わいました。他のコーナーでは、金魚すくいやくじ引き、宝探しがあり、時間いっぱい真剣に金魚をすくう子どもたちや、くじ引きに何度も挑戦する姿、真つ暗な中、宝探しに出発する子どもたちの表情にスタッフも笑顔溢れる時間となりました。物販コーナーでは、生活介護や就労支援の方々が活動の中で製作した物を販売したり、くじ引きなどのイベントを催し、利用者の方と一緒に楽しめる夏まつりになったと思います。そして、ラストは毎年恒例の花火。浴衣姿のキラキラした目で花火を見つめる子どもたちや保護者の方、スタッフの歓声の中、何発もの花火が上がりました。

保護者の方をはじめ、いつもお世話になっている地域の皆様、お力添え頂いたボランティアの方々のおかげで今年も夏まつりを開催することができ、大変感謝しております。暑い中お越し頂いた方、ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。

(夏まつり実行委員長 加藤るい)

心の窓



児童発達支援事業
しろくま
ゆあ
結彩ちゃん

こぐま学園へ通い始めて今年で6年目になる結彩（6歳）です。

結彩は、不妊治療から授かった双子の第1子です。妊娠週20週の時に第2子が天使になってしまいました。その時の医師より「胎盤を共有しているので50%の確率で障害がでる可能性があります。」と説明は受けていましたが、結彩はおなかの中で元気に動き回り順調に育っていました。38週で元気な産声を上げ、私の所へ来てくれました。その後の1か月検診でも「元気です。」と先生から太鼓判を押されるほどです。4か月検診の時に、小児科の先生からの指摘があり、総合病院への紹介状を渡され受け取りはしましたが、私は受け入れる事が出来ず「ヤブ医者!!」と

がら通っていた事が懐かしく思い出されます。登園も6か月が過ぎ泣くことが少なくなりました頃、訓練だけでなく療育にも参加し、出来ないと思っていた公園でのブランコや水遊び等々出来ることを先生達に教えて頂きました。

更に療育に参加しているお母様達との出会いによって悩みや喜びの共有もでき結彩も私も大きく成長する事が出来ました。色々な出会いのおかげで何にでも泣いていた結彩でしたが、今では廊下ですれ違う先生達に笑顔満載で挨拶しています。こぐまの先生方、療育で出会ったお母様方の協力と支えのおかげだと心から感謝しております。それと、あの時「ヤブ医者!!」と言っていた小児科の先生の指摘がなかったらどうなっていたか：気づいてくれてありがとうございました。（心の中で：）そして、これからの色々な出会いを今までの様に大事にしていきたいと思います。

まだまだ書きたい事が沢山あります。一旦つづく：として終わりたいと思います。

来年度は、結彩も小学1年生になりこぐま学園の療育は、終了します。これからも2人3脚で頑張っている続けます。これからも宜しくお願い致します。（結彩の母）



こぐまLINE



まつもと
保育士 松本

皆さま、こんにちは。こども支援部に所属しております。保育士の松本と申します。今回は、皆さまに改めて自己紹介をさせていただく機会となり、少し恥ずかしい気持ちと嬉しい気持ちとで受けさせていただきました。

私の出身は福岡県柳川市で、田んぼとクリークに囲まれた場所です。生まれ育ちました。両親が共働きだったため、日中は祖父母にゆつくりとした時間と自然の中でのびのびと育てられました。現在は、久留米市で筑後川花火大会の会場の近くで、中学生の子ども2人と3人で暮らしています。お酒が好きで、寝る前にテレビを観ながらビールを飲む時間が私の至福の時です。先日の筑後川花火大会の日には、自宅のベランダから少しだけ花火を見た後は、部屋で花火の音を聞きながら夏のお酒を美味しくいただきました。他には海が好きです。出身地の柳川の茶色い海も好きですが、青い海に惹かれふらつと出かけることもよくあります。

こぐま福祉会に入社する前は、精神科の病院で入院している児童や大人の方への療育を行っていました。様々な理由で入院に至った方たちと

の時間の中で、私が保育士として大切に思っていたこと、そしてこぐま福祉会で働く今でも大切に思っていることは、子どもたちに『安心を与えられる存在』であることです。私たちは、日中の多くの時間を子どもたちと過ごすことができる存在だからこそ、家庭以外の場所でも、人は信じられること、頼っていいこと、助けてくれることを子どもたちに知らせてあげられたらと思っております。そして、これから成長していく子どもたちの人に対してのベースが『安心』であってほしいと願いながら保育をしています。子どもたちが沢山の信じられる人の存在を知り、沢山の愛を感じ、沢山の笑顔の中で育ってほしいと思うと共に、自分自身がその一人であれたらと思っております。こぐま福祉会の職員の言葉や、お祝いで渡される療育証書にある『たくさんの人に愛される子に育ってください』という言葉が私は大好きです。そんな温かいこぐま福祉会で大切な子どもたちの成長を見守ることができていることをとても嬉しく思います。保護者の皆様とも色々な話を沢山できたらと思っております。今回がそんな機会のひとつにでもなったらいいなと思いつつこの記事を書いています。まだまだ未熟な私ですが、今後共どうぞよろしくお願いいたします。

夏、最高!

こぐま療育キャンプ

今年も尾久保研修所「みんなの館」へキャンプに行ってきました。

今年は小中高の利用児さん14名の参加で、8月21日(水)～8月23日(金)の2泊3日で開催しました。3日間を通して様々な活動にチャレンジし、自信や達成感を感じる事ができました。

クッキングでは全員で協力し、食材を切ったり、薪を割ったりして、美味しいカレーや団子汁を作りました。どれも残さず食べ、お腹一杯、大満足でした。

川遊びでは自然とふれあいながら水かけ遊び、沢蟹捕り、魚釣り等を楽しみました。みんなの声が川中に響き渡り、川遊びをしつかり楽しむ事ができました。

トレッキングでは新しいコースで高良大社を目指し、それぞれのペースで登りきり、美しい景色を眺める事ができました。頂上では疲れが吹き飛ばほどの達成感を感じました。

最終日のキャンプファイヤーでは、火の精霊達と共に歌や踊りを楽しめました。最後は恒例の花火。小雨が降る中でのナイアガラの滝はまた一味違ってとても綺麗でした。この3日間、子ども達や研修生、そしてこぐまスタッフにとって、忘れられない思い出の夏になったと思います。また来年が楽しみです。
(キャンプ係 木下義博)



ボランティア研修中



山登り



クッキング

つめた〜い!



高良大社にきました!



川遊び



《東へ!》

チャレンジ300キロ

みなさん、ゴールデンウィークや夏休みはどのように過ごされましたか? 放課後等デイサービスこぐまクラブの横枕さん(高2)は4月27日(土)～30日(火)にお父様と自転車で行った、基山町のご自宅から広島県呉市へロングツーリング(総計約300キロ)を敢行しました。

道程は、まず基山町から大分県の玖珠町に(道の駅で野宿)、翌日は国東半島の竹田津港に進みフェリーで山口県周南市へ渡り(スーパーの駐車場野宿)、3日目は岩国市へ(雨だったのでホテル泊)4日目に広島県到達、フェリーで呉市へ渡り、そこから呉市川尻町のお母様のご実家に無事ゴールされました。

小4の時、歯の矯正治療をがんばったご褒美に自転車を買ってもらい、以来、ちよくちよく出かける中、お父様は「いつか広島まで!」と横枕さんに声をかけられていたそうで、ついに目標達成、共に達成感を味わわれたとの事。過酷な旅を先へ先へと進んでいった横枕さんの姿に「見直した!」との最大級の称賛。次の計画は「九州一周!」

(こども支援部 福田)



夏本番！！

ウォーターランド



毎年恒例のウォーターランドを8月2日（金）に開催しました。いつもの園庭が色々なプールでいっぱいになり子どもも大人もワクワクの1日です。ビニールプールだけでなく、ブルーシートなども使用して真っ青でダイナミックなプールが出来上がりました。

当日は、とても良い天気。お母さんと一緒に深いプールにザブンと入ったり、小さめのプールでプカプカと浮いたり、お友だちと一緒に大きなマットに乗ってみたり、上から落ちてくるシャワーに入ってみたり…それぞれのあそび方を見つけ、楽しみました。キラキラの水に負けないぐらいみんなの顔も輝いていました。

水遊び以外にも夏のあそびを通して、たくさんのことを感じとってくれているといいなあと思います。季節ごとの楽しいあそびをこれからもみんなと一緒に経験していきましょう。（保育士 大倉）



職員研修会報告

7月31日（水）職員研修会を行いました。「虐待防止・防犯・防災」の3つのテーマを各担当者が其々の重要性や課題・こぐまの取り組みの現状等をまとめ、講義形式で行いました。全国的に虐待を受けて命を落としてしまう児童や、凄惨な事件が後を立たず、風水害も毎年大きな被害が出ています。防災では実際にあった今年の豪雨での状況を映像で見る等し、より具体的な対策を考える機会となりました。研修で学んだことを法人全体で共有することで、虐待や防犯・防災についての意識の向上や、日々の取り組みの中でのサービスの質の向上に繋げ、安心してご利用頂ける事業所作りを行っていききたいと思います。（職員研修担当 横尾）

セミナー報告

梅雨真っ只中の6月30日（日）「第11回発達支援セミナー」を開催いたしました。

今回は、特別講師として福岡市立東部療育センター臨床発達心理士 野間康美先生をお招きし「発達障害・気になる子ども達の支援に向けて～二次障害を防ぐための支援～」について自閉スペクトラム症の基本のお話から将来に向けての支援の重要性等を沢山の現場での経験をお持ちの先生から貴重なお話を拝聴する事が出来ました。また、パネルディスカッションでもフロアの参加者の方からの活発な質問等も頂く事が出来、アンケートの結果でも参加者の皆様よりご好評を頂きました。

発達障害に対する支援の基本は評価・分析を十分に行い子ども達の将来を見据えた支援を繋いで行く事が必要である事を再確認できたセミナーとなりました。

（セミナー担当 橋本）

行事予定

10月

- 11日（金）避難訓練
べあクラブ 社会体験
- 13日（日）はぐ・しろくま・ゆう 運動会
- 15日（火）はぐ・しろくま・ゆう
運動会振替休園
- 25日（金）愛らんど 日帰り旅行
- 27日（日）Smile Work あすてらすフェスタ
- 31日（木）職員研修のため15時より休園

11月

- 2日（土）べあクラブ スポーツ大会
- 8日（金）はぐ・しろくま・ゆう
マラソン大会
- 12日（火）避難訓練
- 30日（土）Smile Work キラリ☆マルシェ

新入職員紹介

○山中 ^{やまなか} 美由紀（生活支援員）

退職者紹介

- 赤司 和美（生活支援員）
- 江口 いづみ（生活支援員）
- 宮永 佳恵（保育士）

短冊を奉納しました

ロビーに飾った七夕の笹につけて下さった短冊を、七夕神社に奉納いたしました。皆様の願い事が叶いますように。（保育士 西本）

「皆様からの声」をお聞かせ下さい

玄関ロビーにご意見箱を設置しております。療育に関する疑問や質問、気になる事、子ども達の変化など、どんな内容でも構いませんので、率直なご意見をお聞かせ下さい。今後のよりよい支援につなげていきたいと思っております。

（事業部長 木下義博）